

「東北地方太平洋沖地震を教訓とした 地震・津波対策に関する専門調査会」 における検討について

資料4-2

1. 趣旨

今般の東北地方太平洋沖地震による地震・津波の発生、被害の状況について、早急に分析の上、今後の対策を検討する必要

2. 検討課題

(1) 今回の地震・津波被害の把握・分析

- ① 今回の地震・津波の発生メカニズムの分析
- ② 今回の地震に伴う揺れや津波による被害の把握・分析

(2) 今後の地震動等の推定・被害想定のあるり方

- ① 地震動及び津波の推定における規模および対象範囲の考え方
- ② 被害想定手法の点検、見直し

(3) 今後の地震・津波対策の方向性

- ① 海岸堤防等
- ② 土地利用計画
- ③ 避難計画 など

3. スケジュール

- 今後10回程度開催し、秋頃最終とりまとめ
- 6月末頃を目途に中間とりまとめ

(参考) 具体的テーマ

- 今回の地震・津波被害に関する分析
 - ① 今回の地震・津波被害の特徴と課題
 - ② 今後の地震・津波対策に向けた基本的認識
- 大規模地震対策における対象地震の考え方
 - ① 従来の対象地震の想定方法に関する分析
 - ② 対象地震を設定する意義
 - ③ 今後の対象地震の設定の考え方
- 津波による被害の抑止・軽減のための基本的方向性
- 津波防御のための施設整備の基本的な考え方
- 津波被害軽減のための土地利用のあり方
- 発災時における津波避難のための方策
- 被害想定の考え方
- 広域災害、海溝型大規模地震の対応方策

4. 政策への反映

(1) 防災基本計画の見直し方針

- ・例: 「津波対策」に関する記載の充実

(2) 海溝型大規模地震の検討方針

- ・例: 東海地震、東南海地震、南海地震の連動発生

(3) 東日本大震災の復旧・復興への反映

など